

西南学院大学・在福岡アメリカ領事館共催 特別シンポジウム

「インド太平洋地域における日本、アメリカ、 インド3カ国の安全保障協力と役割」

「世界最大の民主主義国家」と言われるインド。中国の台頭が国際社会の秩序と構造に与える影響が注目される中、日米印の三国はインド太平洋地域における安全保障及び防衛面での主要なプレーヤーとして、多くの利益だけでなく、安全と繁栄を保障する責任を共有しています。

日米印の3カ国はインド太平洋地域の安全保障面での連携をいかに強化していけるのか、またその課題とは何か、日米印の専門家がそれぞれの国の視点から討論します。

これからの世界の安全保障やグローバル経済を理解する上で有益な情報満載のシンポジウムです。（日英同時通訳）

学内・学外を問わず、参加可能です（入場無料）。事前の参加申込みが必要です。裏面をご参照いただきお申込みください。

■日時： 2014年10月9日（木） 15:10～16:40

■会場： 西南学院大学 西南コミュニティーセンター 1階ホール
（〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92）

■講師：

①パシフィック・フォーラムCSIS

シニア・フェロー リチャード・ロソウ氏



②防衛大学国際関係学科

准教授 伊藤融氏



③ジョージア大学

国際貿易・安全保障センター（CITS）

所長 アヌパム・スリバスタバ氏



■モデレーター：

パシフィック・フォーラムCSIS

エグゼクティブ・ディレクター

ブラッド・グロッサーマン氏



■申込方法： 裏面をご参照ください

主催：西南学院大学・在福岡アメリカ領事館

共催：パシフィック・フォーラムCSIS



《参加申込方法》

以下の3点を以下のEmailアドレスまで送信してください。
西南学院大学国際センター事務局：intleduc@seinan-gu.ac.jp

タイトル：『参加申込み：インド太平洋安全保障シンポジウム』

1. 氏名(ふりがな) ※参加者全員の氏名をご連絡ください
2. Emailアドレス 代表者Emailアドレス
3. 勤務先・役職名(学生の場合は大学・学部名)
4. 在学番号(西南学院大学学生の場合のみ)

問い合わせ：西南学院大学国際センター事務局
TEL：092-823-3346

【講師・モデレーター 略歴】

■講師①リチャード・ロソウ <パシフィック・フォーラムCSIS シニア・フェロー>

CSISのシニア・フェローとして米国・インド間の政策研究に従事。16年以上米国とインドのパートナーシップ向上に努めてきた経験を持ち、特に二国間の経済面での発展に繋がる政策提言を行っている。1998年から2008年にはU.S.-India Business Council (USIBC)にて米国・インド間の経済的関係向上の政策提言をしてきた。グラント・バレー州立大学卒業。

■講師②伊藤 融 (いとう とおる) <防衛大学国際関係学科准教授>

2009年より防衛大学校人文社会科学群国際関係学科及び総合安全保障研究科准教授を務める。1999年、中央大学法学研究科博士課程後期政治学専攻を修了したのち、2002～04年、在インド日本国大使館専門調査員2005～09年島根大学准教授等を経て現職。専門は南アジア国際関係、とくにカシミール問題を含む印パ関係や現代インド外交、日印関係等。これまでに20以上の研究論文に加え、多くの報告書、政策提言書を執筆。

■講師③アヌパム・スリバスタバ<ジョージア大学 国際貿易・安全保障センター(CITS) 所長>

米国・インド間の貿易や安全保障の分野での政策提言、並びにビジネスのコンサルティングを行うなど22年のキャリアの中で幅広い分野で実績がある。現在在籍する国際貿易・安全保障センター(CITS) は世界90カ国の政府と企業を連携を図っており、日本、インドだけでなく、国際間交渉並びにビジネスの経験が豊富。インド政府への政策提言を行い、またインド政府の防衛面での研究とトレーニングのプログラム作成に携わるなど、インド政府との関わりも深い。

■モデレーター(司会進行)

ブラッド・グロッサーマン

<パシフィック・フォーラムCSISエグゼクティブ・ディレクター>

ジャパントイムズ紙の論説委員(10年間)の後、パシフィック・フォーラムCSISエグゼクティブ・ディレクターとして国際会議の企画や出版、ヤング・リーダー・プログラムの責任者も務める。米国の外交政策とアジアの安全保障について多数の論文を執筆し、インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、ウォール・ストリート・ジャーナル・アジア、ジャパントイムズなどの各紙にも寄稿多数。BBCやアジア各国のラジオで定期的にコメンテーターを務めている。